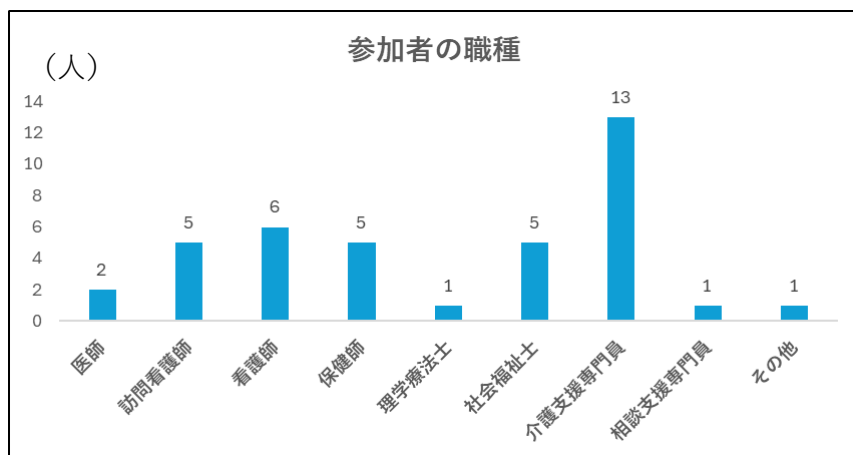
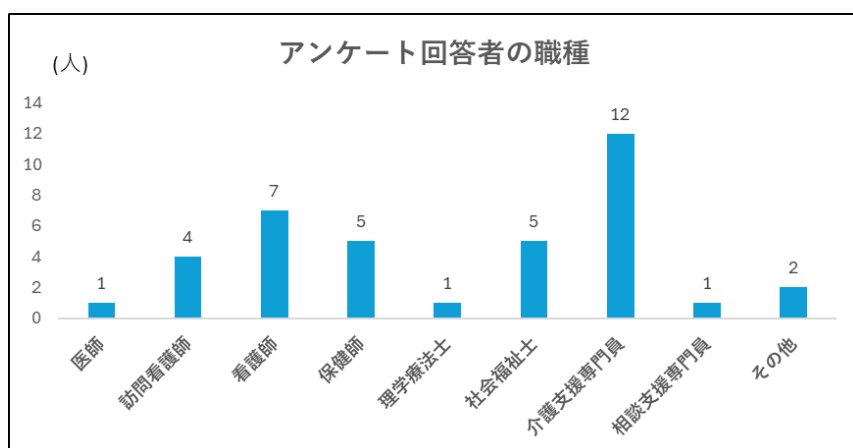


## 令和7年度第3回多職種連携・人材育成研修会 研修後アンケート集計結果

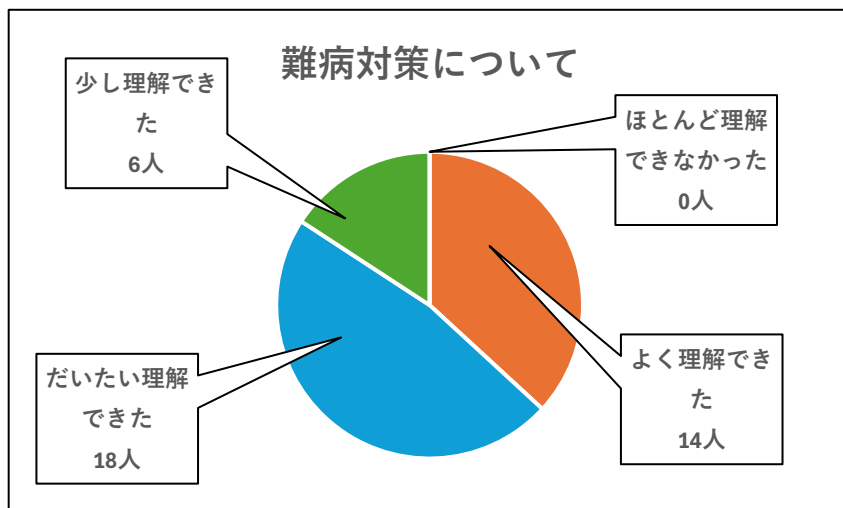
【参加者の職種】 参加者：39名



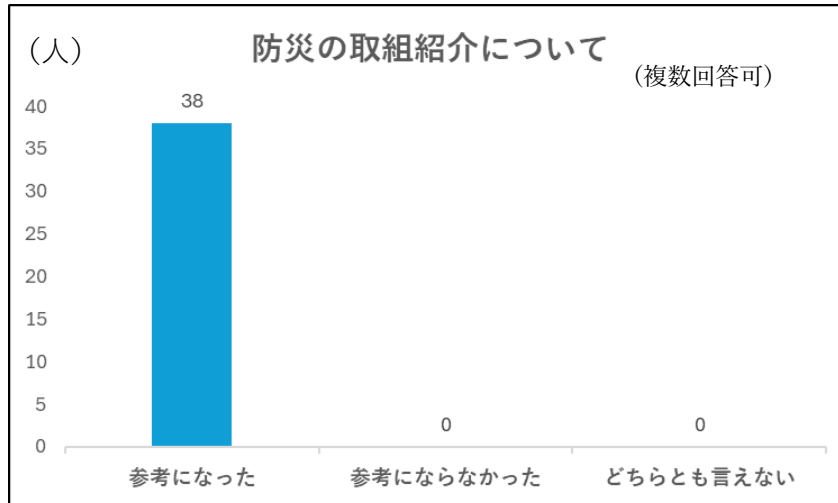
### 1 アンケート回答者の職種 (38名)



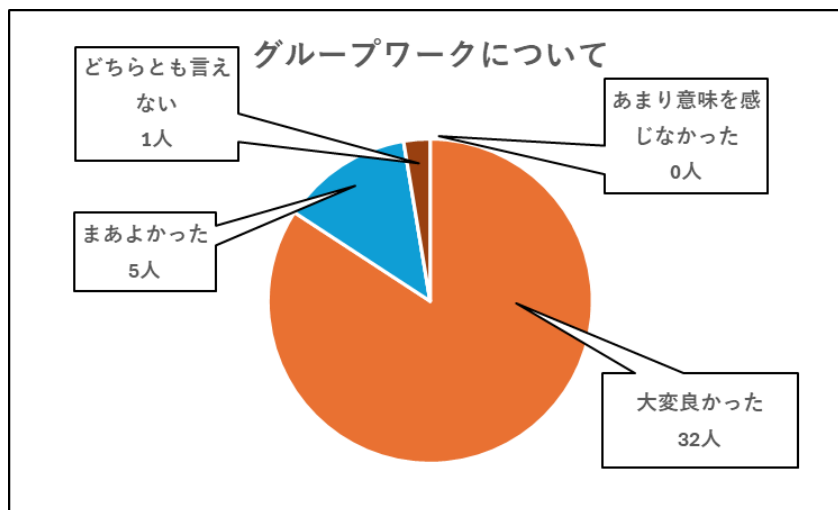
### 2 講演「難病対策について」



### 3 防災の取り組み紹介について



### 4 グループワークについて



#### ❖ 「大変良かった」を選んだ理由

- ・実際に難病患者に対する個別支援シートを作成してみて、防災に対する知識が不足していることを実感できた。
- ・意見交換ができたのが良かった。
- ・色々な考えを聞いた。
- ・具体的に色々な職種の方と連絡の優先順位を決めることが大切だと思ったから。
- ・個別支援シートを記入することで、足りない情報等に気づくことができた。
- ・現場で働く方の考え方、スピードを感じられた。
- ・実際にシートを記入することで疑問点や不足している情報を確認することができた。
- ・いろいろな職種でいろいろな気づきがあり良かった。
- ・いろいろな意見を聞くことができ気づきになった。×4
- ・多職種の方と災害時にどの様に連携するのか自分の職種とは違う意見も出て大変参考になった。
- ・具体的にどういう準備が必要か分かった。

- ・具体例を多職種の人と考えられたのが良かった。
  - ・それぞれの事業所や職種で意見が違うので、色々な意見を聞き参考になった。
  - ・自分では考えつかない意見を知ることができた。×3
  - ・色々な気づきが多い日だった。救済の事ばかり目が行くようですが災害の状況について気をつけることに気がつけた。
  - ・新たな提案もきけて良かった。LINE、ドローンなど。
  - ・災害の支援について平時からシミュレーションしておくことや、予防的に警報が出た時点で避難することの必要性を多職種で共有できたため。全員が計画を立てるにあたり、本人の意思を大事にしなければいけないと共通認識を持てている事も分かってよかった。
  - ・改めての気づきがたくさんあった。
  - ・多職種の方から日頃得られない情報が得られた。
  - ・他事業所のことは知らないことが多く参考になった。
  - ・多職種で考え方、物の見方が違い勉強になった。
- ❖「まあよかった」を選んだ理由
- ・多職種の視点から事例をとらえ、意見を交流することができたから。
  - ・知っておかなければいけないことがたくさんあることに気づいた。
  - ・色々な職種の方と話すことでそれぞれの職場での取り組みを知ることができた。
- ❖「どちらともいえない」を選んだ理由
- ・事例の中から意見を出し合うことは意味があると思われましたが、内容が幅広く的が絞れなかった。この意見を元にどのように発展させるのかが疑問。

## 5 今後、自分の担当者や周囲の要配慮者の「防災計画」についてどのように考えるか

- ・家族、支援者、関係機関と共有し見直していくことが必要。
- ・患者に関わる機関との連携を強めることが必要。定期的な情報の更新が必要。
- ・関係者、協力者と考えていきたい。
- ・計画の作成後、定期的な見直しが必要だと感じた。
- ・今後本人やその家族、関係機関が集まって防災に対するシミュレーションが必要だと考えた。
- ・防災計画は見直しが大事。近所の人の助けをどうするか、受けることができるか知っておく。
- ・本人の意思、連絡方法→急変時の対応の共有、統一することが大切だと考えた。
- ・計画を作成しているが、本人、家族、支援者で情報を共有し、常に最新の状態にしておかなければいけないと思った。
- ・自分の職場でできる役割や関係機関との連携を考えていきたいと思った。
- ・必要な方には早期に作成し、対応していければと思う。
- ・関わっている関係者が連携をして統一した支援ができるように話し合いをしていく場を持つことが必要だと思った。
- ・まずは要支援者の情報を基に優先順位を考え、連絡網を基に連絡をする。災害現場がどこであるのかわかるようにし、タイムリーに避難ができるようにしたい。
- ・関係者が集まって(Zoomでも可)話し合う場が必要。情報を共有できるツールが必要。
- ・どうしたらよいのだろう…と考えているところです。
- ・防災についてもっと意識をして考える必要があると思う。

- ・訪問時に個別支援シートにあるような内容について話したい。
- ・具体的なことをイメージして考えておくことが大切だと思った。
- ・身体状況に応じて計画を常に更新する。
- ・本人か家族の意志を尊重しながら、何かあった時に皆が動けるよう共有する場を設定していきたい。
- ・普段から具体的な計画を関係者全員が把握、共有することが大事だと思った。
- ・皆で支援シートを作って共有し、シミュレーションしたい。
- ・まず自分の安全確保が最優先
- ・本当に大事なこと、避難所で支援者が知りたい情報がすぐわかるシートを作って欲しい。
- ・個別の担当はないが、地域の民生委員と関わる仕事なので、要援護者の方と情報共有できると思った。
- ・病院勤務のNsとしての視点だけでなく、広く考えられる様になりたい。
- ・施設の防災をメインに考えているので、通所、訪看、居宅とも連携をとれるように検討していきたい。
- ・緊急時の対応について、日頃の情報共有が大切なことが良くわかった。
- ・ケースごとに考えられる人は災害も想定して考えていきたい。
- ・事前に計画について考えていきたい。

## 6 研修会全体について(ニュアンスが変わらないよう、「ですます調」の方はそのままにしています)

- ・災害について、利用者さんのことはもちろん、自分たちのことについても考えないといけないと感じた。
- ・大変勉強になりました。×2
- ・知らないことが多く、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。
- ・色々な話が聴けて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・多職種の方と関われるいい機会です。ありがとうございました。
- ・自分の気づきができた。日頃からの連携が大切。
- ・とてもよかった。
- ・時には多職種の意見交換をすることは大切ですね。
- ・とても勉強になりました。当ステーションの取り組みを再度見直します。
- ・時間配分や会場は良かったです。駐車場の誘導や案内看板などがあれば良かったと思いました。
- ・土井先生もおられ、とても具体的な話ができてとても有意義な時間でした。
- ・身近な話で大変興味深かった。今後の職場で活かせるようにしたいと思う。
- ・夜間や冬期など新見市内を想定することが大切だとより深く考えました。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・災害時の支援についてほとんど分からなかったが、イメージを持てるようになった。
- ・「患者自らが無事を発信する力」も大事だと思った。多職種の方と顔を合わせて話ができる機会なのでとても良いです。
- ・駐車スペースが少なかったです。難病の災害支援の内容はとても良かったです。
- ・具体的に考えられて良かったです。

- ・職を超えて情報共有する方法を学び参考になりました。
- ・災害時にどのようにすべきか、支援を行うべきか等色々なアイデアが聞けて今後の参考になりました。
- ・グループワークの時間がしっかりあってよかった。
- ・駐車場がなくて困りました。
- ・訪看での取り組みを知ることができて良かった。多職種での連携が必要不可欠であると改めて思った。
- ・難病患者災害時個別支援シートを実際に見る機会がなかったので、知れてよかった。
- ・訪問している方々を思いながら色々考えました。改めてご近所の方々の助けを受けることの大切さを思いました。家族の不在時の避難を考えることが大事と思いました。ありがとうございました。
- ・少し時間が短いように思いました。詰め込みすぎ？ですが、災害について他事業所、職種で考える時間は必要だと思います。市全体で考え、取り組むことが大切だなと思いました。
- ・実際に個別支援シートを作成してみて、新見市内の避難所について知識や情報が不足していることに気づけた。
- ・災害に備えた準備が必要だと感じていながらなかなか備えることができていなかった。改めて、備えの大切さを感じた。また、ケースに関わる支援者と情報を共有する等の重要性を感じた。
- ・災害時について意識が高まった。
- ・日頃から防災意識を持つことが、患者だけでなく自分のためにも大切だと感じた。
- ・他の機関の人と話し合うことができて良かった。時間と内容が合っていない(盛りだくさん)気がしてもったいないように思います。
- ・同じ職種や機関で、災害時にとらなければならない役割など話す機会もあればよいと感じました。